丹波篠山市議会だより

No.121
2026.11



■議場にモニターを導入　P3
■議会報告会、政務活動報告会の開催案内　P3
■一般質問15人が登壇　P6～10

作品紹介「コスモスいっぱい」

ささやま支援学校では、今年度、早期発達支援室に3人の幼児が入室しています。運動したり歌ったり遊んだり、元気いっぱいです。造形遊びも大好きで、季節の壁面飾りを作ったり、感触遊びをしています。それぞれ得意なこと苦手なことはありますが、小さな手をいっぱい使って作った作品をどうぞご覧ください。

9月の壁面でコスモスを表現しました。初めてはさみに挑戦し、紙を切り、貼り付けて真ん中にシールを貼りコスモスにしました。また、夕焼け空はマーブリングで色を付け、トンボは小さい手形で作りました。

次回の会議は11・12月に開催します。

【第127回　師走会議】

11月26日（木）本会議（第1日）
議案提案　他

12月16日（水）本会議（第2日）
一般質問　他

12月17日（木）本会議（第3日）
一般質問　他

12月18日（金）本会議（予備日）
12月24日（木）本会議（第4日）
委員長報告　他

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市のホームページ（ユーチューブ）でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎（1階ロビー・4階議場前）に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です（リアルタイムのみ）。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※市議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。

TEL（079）552-6855
FAX（079）552-7104
gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第121号
令和8年10月21日発行

編集・発行
丹波篠山市議会 広報広聴常任委員会
委員長：本多　紀元・副委員長：岡　圭子
委　員：金崎　美和・委　員：桐村　裕一
委　員：野々村　康・委　員：安井　博幸
〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41番地
TEL（079）552-6855

丹波篠山市議会　検索

クイズに答えて図書カード!!

問1
本会議場に設置されたものは？
① 地球儀　② モニター　③ 花瓶

問2
表紙の壁面飾りで子どもたちが作ったお花は？
① ひまわり　② チューリップ
③ コスモス

問3
ふれあい子ども議会教室で子どもたちが体験したのは？
① 議員　② 校長先生　③ 店員

答えはすべて「紙面の中」にあります。

応募方法

官製はがきに「答え」「住所」「氏名」「年代」を記入してお送りいただくか、下記の二次元バーコードからご回答ください。正解者の中から抽選で15人の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて名　〒669-2397
丹波篠山市北新町41番地
丹波篠山市議会　議会事務局

応募フォーム

☆締切日
令和8年11月20日（金）《当日消印有効》

※応募していただく「はがき」のスペース（空白）に「議会だより」に対するご意見やご感想をお聞かせください。

※「はがき」にご記入いただいた個人情報は、目的以外に一切使用いたしません。

※クイズの答えは次号に掲載いたします。また、当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

まちなみ

この↑にある「クイズに答えて図書カード!!」でいただく皆様の貴重なご意見を毎回楽しみにしております。いただいたご意見は紙面の改善や私たちのやる気につながりますので、たくさんのご応募をお待ちしております。（本多）

芸術の秋。市内外の芸術祭や美術館を訪れ、作品に触れる中で、作家の皆さんの豊かな感性に触発されました。芸術との出会いは、日常を新たな視点で見つめるきっかけにもなり、心豊かな時間となりました。（岡）

西国三十三所巡礼を始めて十年。ようやく三十二番札所まで参りました。長いようであっという間の歳月です。お参りを通じて自分を見つめ直し、得た学びを大切にし、日々の暮らしに感謝して満願を迎えたいと思います。（金崎）

市の方向性が大きく変わろうとする今、丹波篠山は新たな転換期を迎えています。市民の皆様の関心や声に寄り添いながら、豊かな自然や歴史、暮らしの現在地をしっかりと見つめ、未来へつなぐ歩みを進めてまいります。（桐村）

7月の高温と9月の長雨による農作物の影響が懸念されます。近年は全国で記録的豪雨が多発しており、災害が少ないと言われる丹波篠山市であっても、常日頃からの防災・減災への備えが必要だと痛感しています。（野々村）

9月末の日曜は生憎の雨模様でした。「ぶら～っとサンデー」が丹波篠山市立中央図書館にて開催され盛況でした。図書館が広く市民に親しまれる施設になったと感じました。次回の11月22日には好天に恵まれますように！（安井）

☆カーテン　☆クロス
☆カーペット　☆クッションフロアー
☆ローマンシェード　☆手すり取り付け
☆ブラインド　☆システムキッチン
☆ロールスクリーン　☆リフォーム工事
センスアップ改装をご希望なら
住宅リフォーム事業団体 国土交通大臣登録
アオキ装飾工芸
丹波篠山市瀬利1093
Tel 079-552-0506
Fax 079-552-6335
日装連リフォーム推進協議会会員　住宅リフォームエキスパート（増改築相談員961024号）
アオキ装飾工芸　検索

総合防犯設備士資格 保有
防犯設備の施工・点検承ります
「まごころと技術で奉仕する」
オカダ電工
あなたの家の防犯対策万全ですか？
☎079-552-5243(代)
〒669-2307 丹波篠山市般若寺189　FAX.079-552-5543

各種建築板金工事（屋根・外壁・雨樋）/ 一般土木工事（基礎・埋立・造成）
内装工事（軽天・木工事、各種造作全般）/ 解体工事（木造・鉄骨・RC 解体）
建
馬場板金
建設業許可 / 兵庫県知事許可 第 752258 号
産業廃棄物収集運搬業 / 兵庫県知事許可 第 02808152412 号
TEL 079-557-0560
FAX 079-506-4535
〒669-2504 兵庫県丹波篠山市西野々28

軽自動車買取強化中!
動かないお車も喜んで買取りします!
詳しくは 0120-338-196
市内全域出張査定無料
HPからのお問合せはこちら
篠山オートセンター
地域密着！お客様に寄り添うトータルカーショップ
〒669-2202 兵庫県丹波篠山市東吹830
（営業時間 9：30 ～ 18：30　定休日 毎週火曜日）

本会議場にモニターを設置！より分かりやすい議会へ

市議会では、令和８年９月の長月会議から本会議場に２台のモニターを導入しました。

傍聴者用モニターには発言内容がリアルタイムで字幕表示されるほか、一般質問等での画像資料等も投影されます。画像資料についてはYouTube配信でも確認でき、審議内容がより分かりやすくなりました。

傍聴者をはじめ、多様な市民の皆さまにとって分かりやすい議会運営となるように整備を行いました。新しくなった本会議場へぜひ傍聴にお越しください。



傍聴者用リアルタイム字幕モニター



議場内の大型モニター

11月 議会報告会を開催

市民の皆様からの意見をお聞きし、市政に反映していくことを目的に議会報告会を開催しています。

下記の３会場ともどなたでもご参加いただけますので、ご興味のあるテーマの会場にお越しください。

開催内容

第１部　６月及び９月定例会報告動画・質疑応答

第２部　「各テーマ」についての意見交換（ワークショップ）

開　催　日	会　　場	テ　ー　マ
11月４日（水） 19:00～20:30	城東公民館 ２階第１研修室	中学校における部活動の地域展開について
11月４日（水） 19:00～20:30	四季の森生涯学習センター 東館１階大会議室	地域農業の将来について ～地域の特性と農業の将来を探る～
11月11日（水） 19:00～20:30	西紀老人福祉センター ２階健康教育ホール	これからの地域医療と地域防災 ～将来世代につなぐため～

政務活動報告会公開録画会を開催！　調査･研究の成果を市政へ！

令和８年度政務活動費の使い道の透明性等を目的として議員（会派・無所属議員）から、活動内容を報告します。公開録画会として開催しますので、当日の内容は後日YouTubeで配信いたします。

当日お越しいただく方の席は、議員席と傍聴席を用意しています。皆様のご参加お待ちしております。

開催日　令和９年２月９日（火）10時～12時

会　場　丹波篠山市役所 本庁舎４階　議場

政治家が入学、卒業、結婚、出産などの祝儀を出すことは禁止されています。

議会って、こんなにワクワクするんだ！

ふれあい子ども議会教室　―聞く・話す・考える！―

次世代を担う子どもたちが、身近な課題を自分事として考え、議論し、合意形成を図ることの大切さや、議会・議員の役割を理解し、議員との交流を通じて市政への関心を高めることを目的として、８月５日、６日に「ふれあい子ども議会教室」を開催しました。

実際に、子どもたちに丹波篠山市議会の本会議場へお越しいただき、丹波篠山市議会の役割や仕組みなどの学習をはじめ、議長席に座る体験、議員との名刺交換、クイズにも挑戦しました。そして「まちをもっとよくするには？」を議員と一緒に考える体験を行いました。



《子どもたちが夢中になった３つの体験》

① 議員を体験してみる

「まちをもっとよくするには？」を議員と一緒に考える体験

「議員の仕事」がぐっと身近に



② 議会を探検する

議会フロア、本会議場の見学

リアルタイム字幕モニターやYouTube配信などの工夫を発見！



③ ふれあいトーク

自分たちの困りごとを質問

遊び場、通学路、部活動…。困りごとを議員に直接質問！



《「子どもの声」が議場に響いた》

「今回のお話を聞いて、私も議員になりたいと思った！」

「議員の仕事が分かりました！」

「クイズとかで分かりやすく説明してもらえて理解できた！」



アンケート結果を数字で見る！

参加者　17名（うち保護者８名）

「良かった」	15名
一番人気「議員体験」	８名
「また参加したい」	12名

長月会議で可決した主な条例改正

議案	議　　題
68号	社会情勢の変化に対応し、職員等の旅費制度を国に準じて全面的に見直すもの。
72号	旧波多野邸の一部を改修し、西紀南コミュニティセンターとして設置するもの。
73号	森林として再生される皆伐について、景観条例等の届出対象外を500平方メートル未満から1,000平方メートル未満へ見直すもの。
74号	平成21年度から据え置いてきた児童クラブの利用料を、人件費や物価の上昇を踏まえて改定するもの。月曜日から金曜日までの通年利用は、通常月が月額6,000円から7,000円に、８月は10,000円となる。
75～77号	こども性暴力防止法への対応や、満３歳以上限定の小規模保育事業の全国展開などに伴い、保育事業の基準を改めるもの。
78号	城東保育園とかやのみ幼稚園を統合し、旧城東中学校跡地に「かやのみ認定こども園」を設置するもの。
79号	篠山・たまみず・岡野の３幼稚園を現在の篠山幼稚園の場所に統合し、「ささやま幼稚園」を設置するもの。

主な質疑

議案	質　　疑	回　　答
74号	長期休業期間の料金を一度に引き上げず、段階的に改定する考えはなかったのか。	夏休みは通常月の約２倍の開所時間となる。段階的な増額も検討したが、１年間で新しい料金体系へ移行することとした。
	多子世帯などへの負担軽減策は。	生活保護世帯は全額免除、児童扶養手当受給世帯は半額。２人以上が入所する場合は、１人を除く兄弟姉妹の利用料を半額としている。

～賛否の分かれた議案等の公開～

議案＼議席番号・議員名	1 金崎 美和	2 大内 正博	3 本多 紀元	4 桐村 裕一	5 堀毛 宏章	6 荒木 礼子	7 渡辺 拓道	8 野々村 康	9 降矢 杏奈	10 小畠 政行	11 隅田 雅春	12 稲山 悟	13 前田えり子	14 向井 千尋	15 安井 博幸	16 岡 圭子	17 原田 豊彦	18 上田 英樹
議案第74号 放課後児童健全育成事業の実施に関する条例	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	－

※○は賛成、×は反対。　※上田議員は議長のため、採決には加わっていない。
※条例名・予算名は紙面の都合により簡略化しております。

【反対討論】議案第74号

- 子育て一番条例と児童クラブの８月平日の月額６千円から１万円への値上げは整合しない。（安井）
- 暮らしの心配が大きくなっている昨今の状況の中で値上げすることには、反対である。（前田）
- 子育ていちばんのまちで、児童クラブ値上げと待機児童問題をどう考えるか。（桐村）

【賛成討論】議案第74号で野々村、大内、原田議員、**議案第84～89号**で渡辺議員が賛成討論を行いました。

受理した陳情・要望書に対応

■子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
兵教組多紀教職員組合 執行委員長

上記の陳情書は、総務文教常任委員会で審査を行い、教育環境の整備は不可欠であり委員会の総意として衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣に対して意見書を提出しました。

■JR篠山口駅周辺整備について（要望）
味間地区まちづくり協議会会長
味間地区自治会長会会長

■令和９年度予算にかかる要望
特定非営利活動法人兵庫県腎友会会長

■地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望
公益社団法人丹波篠山市シルバー人材センター

上記の３件の要望書は、適切に対応されるよう市長に申し入れました。

政治家が会費制でない会合で飲食代相当額を会費として支払うことは禁止されています。

長月会議で可決した補正予算

9月3日会議(午前)　9月3日会議(午後)　9月29日会議

議案	議　　題	主　な　内　容	補正額
84号	令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）	市税の増減および事業の追加・変更に伴う経費の増減	2億3292万6千円
85号	令和8年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	職員人件費、国保標準システムへの移行に伴う関連システムとの連携処理等	事業勘定3515万4千円 診療所勘定△146万8千円
86号	令和8年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	後期高齢者医療システム改修に対する国庫補助金等	1,950万8千円
87号	令和8年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	国・県等への介護給付費及び地域支援事業交付金の返還金等	2億1350万円
88号	令和8年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第1号）	人件費の精査、固定資産の確定	収益的収入△989万8千円、 収益的支出△646万8千円、 資本的支出29万7千円
89号	令和8年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第1号）	人件費の精査、固定資産の確定	収益的収入△165万7千円 収益的支出590万7千円
91号	令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第4号）	交通事故による建物および物品に係る損害賠償金	100万2千円

主な質疑

議案	事業名・補正額	質　　疑	回　　答
84号	地元就職促進費 50万円	高卒、大卒別の人数、また就職時と1年後の支給状況はどうか。	高卒が29名。大卒、短大卒、専門学校卒が20名である。昨年度支給額が想定より40万円の減、今年度は90万円の増である。
	地域クラブ運営補助金 66万3千円	中学総体で活躍したクラブについて、新人戦の成績はどのあたりまで見込めるか。	中学総体で、ホッケー部全国ベスト8、ソフトボール部全国大会に出場しており、新人戦においても活躍が見込まれる。
	塵芥処理費 957万8千円	ゴミ袋は当初見込んでいた枚数を作るのか、増やすのか。	燃えるゴミ袋の作成枚数を増やす。資源ゴミや埋め立てゴミに関しては減らす。
	山の芋生産振興補助金 496万1千円	10a当たり64,000円増額の根拠は何か。	産地交付金36,000円に市補助額64,000円を増額することで、山の芋栽培の時間当たり収益を1,676円とする。
		令和9年度の目標17haの達成に向けて、今回の補助金拡充が、来年度にどのような効果をもたらすのか。	来年度以降の生産拡大につなげたいというメッセージ発信として位置付けている。山の芋栽培の離農を防ぎ、栽培面積の拡大、生産意欲の喚起等により山の芋の栽培促進へつなげる。
87号	在宅医療・ 介護連携推進事業 8万4千円	エンディングノートの増刷の経緯は。	市医師会の市民フォーラム開催や高齢者大学等で想定以上に必要となったため。

政治家が運動会やスポーツ大会に差し入れをすることは禁止されています。



大内　正博

中山間地域の農地と農村を将来にどう引き継ぐのか

問　中山間地域等直接支払制度対象となり得るにもかかわらず、現在活用されていない急傾斜農地・緩傾斜農地の面積を把握されているのか。

現在、34集落と維持管理活動の協定が結ばれており、約123haにおいて日々の活動が行われている。図面で本制度を活用されていない急傾斜地を確認したところ約70集落で対象となる可能性がある。

新たに制度に取り組む際の発足時の伴走支援、広域化の推進をどう進めるか。

傾斜を測量したうえで、要件を満たしているかを確認し、集落と情報を共有しながら、申請手続きに至るまでサポートしている。第６期から国が推奨している「ネットワーク化」の取り組みを推進している。

中山間地域等直接支払制度を最大限に活用して今後推進できるか。

まずは急傾斜農地において、取り組みが未実施集落に対して制度の活用を推進する。集落単位や複数集落による広域的なネットワーク化を通じて、共同活動を促し地域コミュニティの維持発展と農地保全、豊かな農村環境の継承を推進する。



金崎　美和

1. 命を守り災害にも備える学校体育館の暑さ対策
2.「芸術」を丹波篠山のまちづくりの「柱」に

問１　学校体育館への空調設備は、財政状況を考慮しながら段階的に整備すべきではないか。



国の交付金の対象期間や、市全体の財政状況等を考慮しながら検討していきたい。

子どもたちの教育環境と災害時の避難所環境を守るため、学校体育館・武道場の暑さ対策について、整備の見通しが示せないか。

必要性は認識しているが、現時点では整備に踏み込むことが難しい状況である。研究を続け、道筋がつけばすぐにでも整備したい。

問２「丹波篠山宣言」に掲げたアーティスト・イン・レジデンスの実現に向けた体制は。

本市ではまだ実現できていないが、これに向けた取り組みを検討していきたい。

ユネスコ創造都市ネットワークの取り組みの一環として、より多くの小中学生が、地域の芸術家や工芸家から継続的に体験学習ができる仕組みを広げてはどうか。

子どもたちの創造性や表現力、感性を磨くことは大切である。教科とマッチングしながら、芸術活動を取り入れた活動につなげていきたい。



降矢　杏奈

部活動地域展開：体験の格差解消と推進について

問　本市の部活動地域展開の基本方針と将来像は。

令和10年度を目標とし、休日・平日を含めて地域クラブが運営を担う方向を目指している。過渡期において、一時的に休日は地域クラブ、平日は学校部活動となることをご理解いただきたい。



体験格差や地域間格差を防ぐための対応について。

家庭の経済状況や地域によって、体験格差・教育格差を少なくし、丁寧に取り組みを進め、持続可能な地域スポーツ・文化活動の場を構築していきたい。

練習・試合会場への移動・送迎において、AIデマンドバス「のり～な」やスクールバス等、既存インフラを活用してはどうか。

運行経費の増加やドライバー確保等の課題があるため、現時点での即時活用は難しいと考える。

子ども・保護者に届く支援策として、経済的負担軽減へ向けた「直接助成」の導入を。

今後の財政補助や仕組みについて、総合教育会議で協議を引き続き進めていく。

一般質問（個人）



隅田　雅春

1. 中世の三岳修験道の研究と現代の丹波篠山への活用を
2. 土地改良区の管理者や高齢化と担い手不足について
3. デジタル地球儀について

問１　中世の三岳修験道の研究を丹波篠山の各種施策に活用してはどうか。

これまで「源義経の道」「戦国乱世の道」の歴史資源を結ぶルートマップを作成し発信してきた。歴史的価値や地域連携の考え方は大切に継承しつつ、安全・安心への配慮を行い、歴史文化を活かした魅力ある地域づくりや交流人口・関係人口の拡大に向けた方策を検討する。

問２　土地改良における課題とその対応について。

農業者の数が減少し、土地改良施設に対する意識が弱まってきている。老朽化による農業用施設の改修時期を迎えながら、施設の更新などにおいて組織の意思統一が難しい。各土地改良区において、現状を知っていただき、当面の課題を考えていただこうとしている。

問３　まずはモデル校でデジタル地球儀を試行導入し、教育効果や費用対効果を検証する考えはあるのか。

本市では、一人一台端末を導入し、立体的な3D画像により世界各地を拡大・縮小しながら自由に観察・探索できるグーグル・アースを活用し、学習指導の充実を図っている。現時点でデジタル地球儀の導入は慎重な判断が必要と認識している。



安井　博幸

1. 人事院勧告の影響と特別職の報酬改定を問う
2. 市長は市広報の政治的利用を避けよ
3. 教育行政の今後の課題は統廃合ではないか

問１　令和8年度の人件費は、幾ら増額補正になるのか。

人事院勧告に基づき２億円程度を見込んでいる。

市特別職も定期的に報酬を改定すべきで、特別職等報酬審議会へ特別職の報酬を諮問すべきではないか。

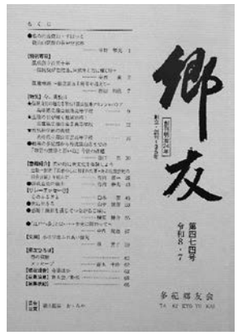
特別職等報酬審議会は客観的に社会的に妥当かということを審議される場であり、市長等の報酬はこの審議会によって判断されるべきものではないと考える。

問２　市広報での市長 Hot トークのページは、市長の政治的利用と受け取られないようにすべきではないか。

市民のみなさんに、わかりやすく親しみやすく伝える努力をしている。これのどこが政治的利用か。

問３　谷口元教育長の少子化には学校の統廃合しかないとの「郷友」での指摘をどう受けとめたか。

貴重なご意見の一つとして受け止めている。当面は現状を維持しつつ、特色を活かした魅力ある学校づくりを進めていきたい。





岡　圭子

1. 給食費無償化の恩恵を全ての子どもに
2. 姉妹都市との交流を活かしたシティプロモーションを

問１　給食を食べない児童の給食費相当額について、市では現在どのように取り扱っているか。また、国の制度を活用し、金銭給付などの支援を行う考えはあるか。宗教上の理由や重度アレルギー、長期欠席や不登校などの児童にも支援を検討できないか。

現在、給食費相当額の給付は行っていない。令和８年度の非喫食児童は７名で、宗教上の理由２名、重度のアレルギー２名、不登校３名。やむを得ず喫食できない児童には、制度の公平性から支援が必要である。近隣市町の事例を参考に、給付方法や給付額を整理し、令和９年からの実施を目指し検討を進める。

問２　現在、姉妹都市交流について市民への情報発信をどのように行っているか。既存市役所第二庁舎の展示スペースを活用し、パネルや記念品の展示、紹介動画で交流の歴史などを発信しては。

ホームページや広報誌で姉妹都市の情報発信に努め、交流事業では報道機関への情報提供や児童生徒への募集チラシ配布も行っている。第二庁舎の展示ショーケースは、館山市との提携を機に見直しを行いたい。各姉妹都市の紹介動画についても、連携して活用を進めていく。



野々村　康

1. 西紀中学校体育館雨漏り対策について
2. 丹波篠山市の企業誘致推進のための専門員配置について

問１　令和６年度の大規模改修後、西紀中学校体育館では大規模な雨漏りが発生している。平成29年から指摘されていたのに、なぜ、工事で改修できなかったのか。生徒を危険な状況に置いたのは、教育委員会の不適切な対応が原因でないか。

学校現場に多大な迷惑をかけたと認識している。追加工事を行った結果、今年の８月20日から雨漏りは発生していない。引き続き様子を見ていきたい。



令和６年度の工事でも完了時に一時雨漏りが収まったこともあるので配慮されたい。

問２　旧農工団地犬飼・初田地区について、関係法令が改正され、企業誘致に絶好の機会を迎えている。進出企業と地元とのスムーズな事業進捗を図るため、専門知識を有した企業誘致専門員を配置すべきでないか。

現在の職員体制で誠心誠意対応していく。



渡辺　拓道

1. 丹南中学校校舎新築要望への検討状況について
2. 抜本的な行政改革の実行について
3. 適正な文化財行政について

問１　丹南中学校校舎の要望書への回答以降の検討状況は。また、丹南地区在住の議員全員で結成した丹南地区振興議員連盟と情報を共有願いたい。

これまでに教育委員会内で検討を行い、県下の建て替え例の情報収集などを行った。議員連盟の活動には協力させていただきたい。

問２　財政が硬直し投資事業が行えない。特に人件費は、市税収入50億円を超える額である。構造的な課題があるのではないか。抜本的な行政改革が必要である。

課題は認識している。現在、財政持続的発展計画の見直しを行っており、近くその案を発表して経費の削減項目等を示したいと考えている。人件費についても類似団体と比較してその上昇の原因を調べている。現時点では、教育総務費などで高い傾向があると分析している。

問３　政令により文化財の種別、件数に応じて特別交付税が市に交付されている。しかし、天然記念物千年モミや登録有形文化財西尾家住宅など文化財に対策が必要となったときに即座に対応できなかったのはなぜか。

文化財への一律分として年間約5,600万円の特別交付税が交付されているが、同交付税は使途が自由な財源である。しかしながら、課題が発生した際に即応できる仕組みをつくっていきたい。



桐村　裕一

1. 市民を孤立させない「気づきとつなぎ」の全庁基盤へ
2. まず受け止める不登校傾向「状態ゼロ」からの初期支援

問１　平成23年から続く「TALKポロシャツ」の理念である「気づく・聴く・つなぐ」を全庁共通の行動原則とし、税務や水道など福祉以外の窓口でも支援につなげる仕組みを整備する考えは。



重層的支援体制整備事業の本格実施に伴い、マニュアルや受付票を整備・周知している。原則、ゲートキーパーを窓口対応の基本として共有し、どの窓口からでも確実に支援へつなぐ相談体制の充実を図っていきたい。

問２　不登校初期相談リーフレットを新規作成し、全家庭へ届ける考えは。

姫路市などの事例を参考に、保護者や児童の不安に寄り添い、相談先や選択肢を示すリーフレットの作成・配布を前向きに検討する。

発達障害児を中心に活用している「サポートファイル」を、不登校傾向「状態ゼロ」の児童生徒にも広げ、教育・福祉・保健が連携して支援する考えは。

保護者の意向を確認の上でサポートファイルを作成・活用し、福祉・保健とも連携し支援を進めていく。



原田　豊彦

全国初の「スポンサーシップ協定」を次のステージへ

問１　過去６回実施した「黒豆ナイター」の成果の検証と今後の方針は。

25,000人を超えるZOZOマリンスタジアムの観客に対して、丹波篠山市の魅力をPRできたことで、ふるさと納税者やインスタグラムの登録者が増えた。また、最も大きな波及効果は千葉県館山市との「姉妹都市締結」。

千葉ロッテマリーンズの観客アンケートでは、丹波篠山市に「興味が湧いた」「行きたくなった」との回答が50％に達しているとのこと。財政の課題もあり、永遠には続けられないが、10年を目途に見直したい。

年間を通じた「中森俊介投手応援プロジェクト」という次のステージに発展させる考えはないのか。

中森投手の一層の活躍を期待しつつ、関東圏へ「丹波篠山市」の魅力を発信し続ける。市内での盛り上がりは、地元の商工会、観光協会及び飲食業組合などと密に連携し、事業化したい。また、子どもたちに「夢と希望と感動」を与えつつ、青少年健全育成に繋がるよう取り組みたい。



マリンスタジアムの
中森投手コラボグルメ



堀毛　宏章

「地域防災計画」の課題について

問　公共施設や民間事業所の消火器、消火栓、スプリンクラー、自動火災報知設備などの「消防設備」は、消防法により点検・報告義務がある。実施率の向上に向けた対策は。

各事業所に消防設備点検の内容や重要性をこれまで以上に啓発していく。

災害時の市内避難所について、被災者の居住環境の向上と災害関連死を防ぐため、現行の「避難所開設・運営マニュアル」を改訂されたい。また今後、福祉避難所を専門的なケアが必要な高齢者、障がいのある方や妊婦さんなど「災害時要配慮者」とその家族に限定した避難所にすることへの検討は。

本年５月に改訂された県の「避難所運営等避難生活支援指針」の内容を踏まえ、マニュアル改訂に向けて取り組む。福祉避難所については、要配慮者とその家族に特化するのではなく柔軟に対応する。

自治会の「いのちを守る防災マップ」の作成と更新のさらなる推進を。

住民学習のテーマとして進めている。また、防災学習や防災訓練時などで、さらに周知啓発に取り組む。



前田　えり子

第10期介護保険事業計画策定に向けて

問　厚労省では、「介護サービス利用料２割負担の対象拡大」「ケアマネジメントの有料化」などが議論されてきたが、中山間・人口減少地域などを「特定地域」と定め、在宅・施設サービス職員の人員配置基準を緩和できるように介護保険法が改定された。住む場所によって介護サービスの内容や質が変わることが懸念される。「介護保険制度の原則を根底から覆す」ことになる介護保険法改定に対する見解を問う。

地域の実情に応じた柔軟な対応でサービス維持につながる。一方、質の低下や経営に影響も懸念される。

介護保険法改定による第10期介護保険事業計画策定への影響は。

地域包括ケアの充実、医療介護連携、認知症対策、住まいの確保に加え介護人材の確保や生産性向上のため、地域に応じた新たなサービス類型の活用などを検討することになっている。丹波篠山市社会福祉審議会に諮問し、介護保険事業計画策定委員会で検討している。

訪問介護事業への支援、介護職員の処遇改善・確保に市の独自支援が必要ではないか。

今後ホームヘルパーの減少が経営に影響を及ぼしていく可能性が高い。介護福祉士国家試験受験対策講座等を継続し、資格取得や事業所運営の安定化を支援する。



1. 人口減少時代でも安心して暮らせる丹波篠山市のために
2. 地域資源に新たな光をあてる周遊観光のまちづくり
3. 都市計画道路西吹大沢新線未整備区間の状況と経済効果

稲山　悟

問１　改正下水道法を踏まえ、転換エリアの線引きや、市民負担軽減のため、国の補助金を最大限活用し、市独自の宅内工事補助制度など支援策を検討してはどうか。

転換エリアは人口減少や更新費用が大きい地域を想定している。すでに加入金等を納めた市民に不利益が生じないよう設置費用の全額補助など新たな支援策も必要と考える。経済性や国庫補助を注視し検討する。

問２　滞在型観光を見据え、周遊観光の推進や川代体育館工事完了を機に一ノ瀬橋のマレット・看板を更新し、さらに国・県・市の連携体制の構築やクラウドファンディング等によるライトアップを検討してはどうか。

観光は分散・滞在による活性化をめざし、一ノ瀬橋のマレットなどは劣化のため更新を検討する。横断的連携やライトアップは関係者や地元に提案し研究したい。

問３　西吹大沢新線整備の工法、事業費、財源、協議状況は。未整備区間を繋ぐことによる経済効果の算出は。

工法は景観への配慮からトンネル化が望ましく、事業費は税抜き約41億円で国庫金や地方債を見込んでいる。県とは都市計画決定変更を協議、警察とは安全対策を検討中。経済効果は現時点では困難だが今後検討したい。



若者の回帰と定着を軸とした移住･定住施策について

本多　紀元

問　本市在住の20～29歳だった世代を４年後に追うと、直近では314人減少し、うち女性は195人と男性を上回った。市外からの移住だけでなく、本市出身者の回帰と、市内で暮らす若者の定着をどう進めるのか。

市の持続的な発展には、若者の定着と回帰が不可欠である。「若者の移住定住爆増プロジェクト」では、回帰の選択肢の提供や、安心して働き、子育てできる環境も検討している。若者の動向は、豊岡市の若者回復率も参考に、本市の実情に即して把握していく。

市外へ転出した若者に、就職や住まいなど希望する情報を届けるため、約１万人が登録する市公式LINEの情報を年代や関心別に配信してはどうか。

情報が実際に活用され、必要な人に届いているかを調査し、効果的な発信方法を検討する。LINEの登録者を属性や希望情報で分ける機能についても研究する。

若者が「市内に働く場所がない」と感じる理由を調べ、企業名や業種だけでなく、ITエンジニアなど各企業内の「職種」に着目して紹介すべきではないか。

若者が希望する職業に視点を当てた発信は重要であり、企業ガイドブックなどでの表現方法を検討していく。



来年度当初予算編成と財政持続的発展計画の見直しは

小畠　政行

問　令和９年度当初予算編成への見込みは。

新規の政策的事業を計上しない骨格予算となる。「財政持続的発展に向けた具体的な方策」を予算編成に取り入れて作成する。

財政持続的発展計画の見直しの進捗と今後の見通しは。

財政持続的発展計画推進委員会の意見も聞きながら、持続可能な財政運営に取り組んでいく。

安定した職員体制の確保に向けた取り組みは。

丹波篠山市で働く魅力を前面に出したインターンシップの実施等により、地元志向の人材を確保して持続可能な職員体制の維持に努める。

DX・AI等を活用した仕事のあり方について。

DX推進リーダーを中心に課題発見力を養うワークショップなど計画し、前向きに挑戦する風土の醸成を図る。

これまでの５期20年の市政を振り返り、どのような思いをお持ちか。

市民の皆様や議会に支えられ、大きな対立もなく歩んでこられたことに感謝する。20年を大きな区切りと考え、今後は若い世代に市政を託すことが良いと決断した。

「議員と語る会」を開催

市内の各種団体と意見交換を行いました。応募された団体から出された希望のテーマに基づき、各種団体の活動内容や市施策への改善提案など様々な話をお聴きしました。今後の議会活動に繋げていきます。



報告の見方

■参加団体名称（対応議員）
① 意見交換テーマ
② 参加団体の主な意見、課題、提案
③ ②に対する常任委員会等の対応

■丹波篠山市農村女性組織連絡会　7/27（女性議員）

① 「女性が活躍できる農業と家庭・仕事の両立について」
② 女性が表に立つ経験の場や研修など学びの機会が必要なこと。小規模農家や現役の農家への更なる支援が求められていること。獣防護柵やサル対策電気柵の維持管理の負担が増大していること。
③ いただいたご意見等は、全議員で情報を共有し、市（執行部）に情報提供を行いました。

■特定非営利活動法人スマイルポケット　7/30（女性議員）

① 「子育て世帯の状況と今後の活動予定。行政や市議会に取り組んでほしいこと」
② 市の支援策や子ども食堂、イベント等に出向くことが難しい世帯があり、課題解消のためには「ささっこスマイル便」や訪問などで早期の把握やその世帯を居場所につなげるアウトリーチ型の支援が重要であること。
③ いただいたご意見等は、全議員で情報を共有し、市（執行部）に情報提供を行うとともに、持続可能な子育て支援とするためには、行政、社会福祉協議会、民間事業者間の連携が必要であることを市に伝えました。

■丹波篠山市認定農業者連絡協議会　8/14（産業建設常任委員）

① 「農業施策について」
② 中山間地域等直接支払制度に緩傾斜も位置づける必要があり、市の取り組む意思と支援がなければ認定農業者は撤退も避けられないと危惧すること。特産物に関し、丹波篠山市産のPRに力を入れる必要があること。
③ いただいたご意見等は、全議員で情報を共有し、市（執行部）に情報提供を行いました。産業建設常任委員会においても、引き続き市の農業施策の動向を注視します。

地域医療対策特別委員会　持続可能な地域医療の構築を

本委員会は令和６年６月の設置以来、「市における安心な医療体制を保持するために必要な調査を行う」ことを目的に①救急医療②医療体制③介護を大きな柱に現状と課題の把握に取り組んできました。９月末で委員会は終了しましたが、今後は民生福祉常任委員会において引き続き地域医療について注視してまいります。

令和８年２月に市と学校法人兵庫医科大学、医療法人社団みどり会の３者で基本合意書が締結され、令和８年７月から「ささやま医療センター」の経営が医療法人社団みどり会に引き継がれました。しかし、今後ますます高齢者の救急医療が重要となるなか、救急搬送の増加、専門医等の医師や介護人材の確保といった課題もあり、救急隊の負担軽減を図る「＃7119（救急安心センター事業）」の市民への周知・啓発、近隣医療機関との更なる連携、介護人材確保の補助制度の見直し、市内介護施設運営法人等との連携及び新たな支援が必要となります。

また、市の委託業務における調査・分析結果では、「治す医療（病院完結型）」から「治し、支える医療（地域完結型）」への転換が重要と示されました。したがって、「今までと同じ水準」を求めるのではなく、丹波篠山市に合った医療が維持できるよう、市民の皆さんに現実を理解していただき、予防に努めていただけるよう啓発活動へ前向きな取り組みをお願いしました。最後に、関係各位のご尽力に感謝し最終報告とします。

政治家がお祭りに寄附や差し入れをすることは禁止されています。